

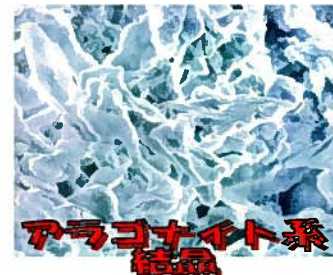
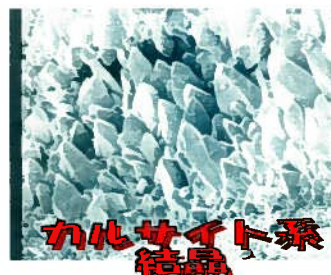
鹿児島産天然アラゴナイト貝化石

アラゴマリン



■結晶系がアラゴナイト

一般的な CaCO_3 （炭酸カルシウム）の結晶系は写真左のカルサイト系ですが、鹿児島県産貝化石は写真右のように非常に珍しい結晶アラゴナイト系（多孔質）です。



■水質安定材としての利用

- 水質のP hを持続的に安定させます。
- バクテリアの住処となり浄化能力を向上させます。
- 吸着能力に優れるため、有機物を吸着します。
- 水質に必要な分だけ徐々に溶け出し、水質を安定させます。
- 水族館、活魚水槽において濾過材として利用されます。
- 種苗生産の現場で、50～100 t水槽に対しアラゴナイト貝化石微粉末1～1.5 kg／日を目安に散布されています。



■養殖場底質改良材としての利用

- 池干しの際、有機物の分解・発酵を促進させます。
- 硫化水素の発生を抑制〔異臭の軽減〕します。
- バクテリアの繁殖を促進させます。



◆散布量目安（kg／㎡当り）

	淡水魚（鰻等）	海水魚（車海老等）
初年度	2～3	0.5～1.5
2年目以降	2～2.5	0.5～1.0

■飼料添加剤としての効果

- 自然鉱物なので、安心して使えます。
- 吸収の良いCa剤で、骨格形成を助けます。。
- 身の締まった魚になり、天然魚に近くなります。
- 養殖魚特有の魚油臭さが軽減されます。
- 豊富なミネラル分で魚が健康になります。
- 肝機能が改善され、病気になりにくくなります。



◆含有成分例（％）

カルシウム	鉄	マグネシウム	ナトリウム	カリウム	珪酸	チタン	アルミニウム	炭素
43.24	3.59	0.21	0.40	1.15	22.85	0.18	3.10	25.29

◆添加量（餌量当り％）

鰻	ブリ	カンパチ	トラフグ・タイ・ヒラメ・他
0.5～2.0	0.5～1.0	0.5～2.0	0.5～2.0

養殖ブリにおける肝機能比較データ
肝機能 ALT-GPT平均



■貝化石サイズごとの主な用途

微粉末(10 μ)	ワムシ培養層、種苗水槽への散布、養殖用飼料への添加
0～0.4mm	ワムシ培養層、種苗水槽への散布
0.4～2.5mm	ヒラメ・カニ種苗水槽、観賞魚水槽への敷き砂
2.5～5.0mm	ヒラメ・カニ種苗水槽、観賞魚水槽への敷き砂
5～13mm	養鰻場・養殖場の底質改良材
13～30mm	水族館・活魚水槽の敷砂・濾過槽

尚、使用量につきましては使用対象魚、飼育密度などの条件により異なりますので、詳しくはお問合せ頂きますよう宜しくお願いします。